

速習！情報 ～共通テスト対策講座～

個人情報保護

**基本四情報、個人識別符号、要配慮個人情報、
プライバシー権、肖像権、パブリシティ権、
オプトイン、オプトアウト、匿名加工情報**

民間事業者に対して個人情報を保護する義務が定められている

- **個人情報保護法**：個人情報の有用性と個人の権利・利益の保護のバランスをとるために、企業や団体に対する義務を定めた法律（正式名：個人情報の保護に関する法律）
 - 個人情報の収集には本人の同意が必要
 - 収集した情報の目的外利用禁止
 - 適切な安全管理措置の実行
- **個人情報**：生存する特定の個人を識別できる情報。複数の情報で識別できるものも含む
 - **基本四情報**：氏名、住所、生年月日、性別
 - **個人識別符号**：情報単体で特定の個人を識別できる符号。指紋データ、マイナンバーなど
 - **要配慮個人情報**：不当な差別や偏見が生じうる情報。人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪経歴など

情報を使うには本人の同意が必要

個人情報保護法のほかに、プライバシー権、肖像権、パブリシティ権などがある

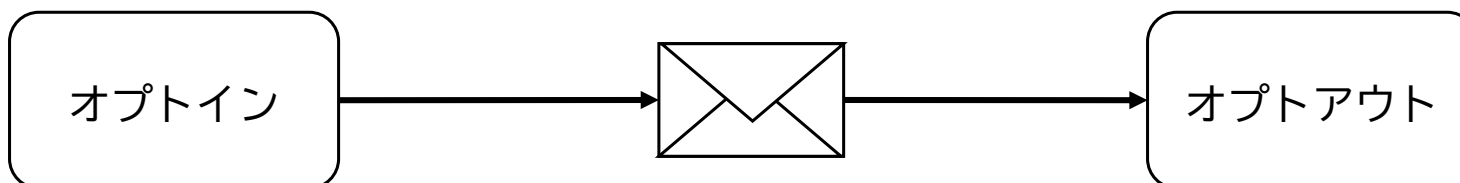
- 個人に関わる情報を守る権利

- **プライバシー権**：他人に知られたくない私生活の情報の公開を管理・制限する権利
 - **肖像権**：意図せず自分の顔や姿を撮影・利用されない権利
 - **パブリシティ権**：有名人の名前や顔や姿のもつ経済的な価値を、意図せず利用させない権利
- } 誰にでも当てはまる
- } 有名人だけに当てはまる

情報を使うには本人の同意が必要

個人情報を保護しつつサービス提供するためにいくつかの方法がある

- ユーザの意志に応じてサービス提供有無を変える
 - **オプトイン**：利用意志を伝えたユーザにサービス提供する（同意なしでサービス提供しない）
 - **オプトアウト**：利用停止の意志を伝えたユーザに提供停止する



お名前

メールアドレス

当社から商品などについてのメールを受け取ることに同意します。

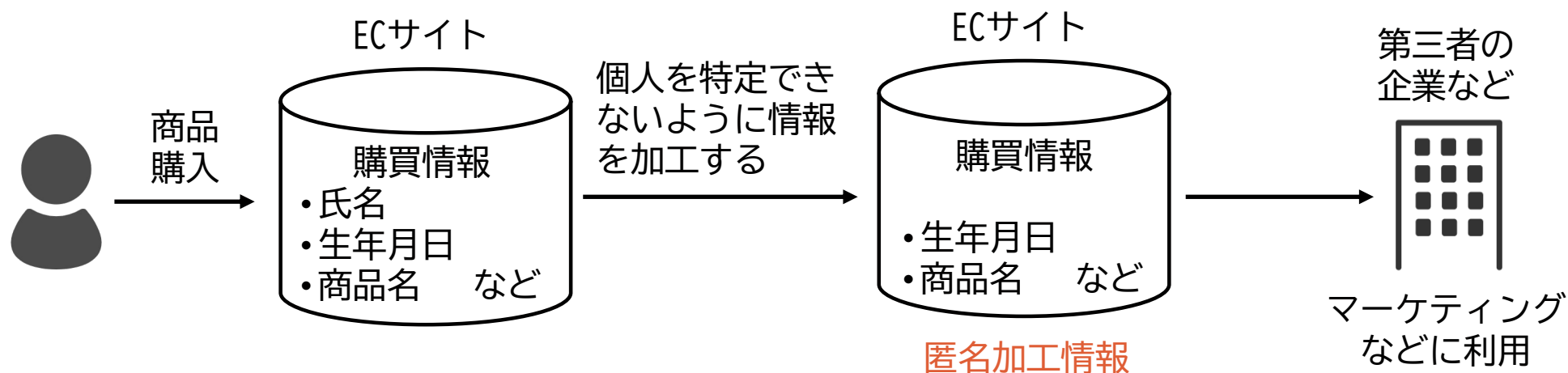
〇〇株式会社

-----配信停止はこちらから-----

<https://www.example.co.jp/mailmagazine/optout>

個人情報を保護しつつサービス提供するためにいくつかの方法がある

- 個人を識別できないように個人情報を加工する（加工した結果の情報を**匿名加工情報**という）



「個人情報保護」の要点

「個人情報保護」の要点

- **個人情報保護法**：個人情報の有用性と個人の権利・利益の保護のバランスをとるために、企業や団体に対する義務を定めた法律（正式名：個人情報の保護に関する法律）
- **個人情報**：生存する特定の個人を識別できる情報。複数の情報で識別できるものも含む
 - **基本四情報**：氏名、住所、生年月日、性別
 - **個人識別符号**：情報単体で特定の個人を識別できる符号。指紋データ、マイナンバーなど
 - **要配慮個人情報**：不当な差別や偏見が生じうる情報。人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪経歴など
- 個人に関わる情報を守る権利
 - **プライバシー権**：他人に知られたくない私生活の情報の公開を管理・制限する権利
 - **肖像権**：意図せず自分の顔や姿を撮影・利用されない権利
 - **パブリシティ権**：有名人の名前や顔や姿のもつ経済的な価値を、意図せず利用させない権利
- 個人情報保護への対応
 - ユーザの意志に応じてサービス提供有無を変える
 - **オプトイン**：利用意志を伝えたユーザにサービス提供する（同意なしで提供しない）
 - **オプトアウト**：利用停止の意志を伝えたユーザに提供停止する
 - 個人を識別できないように個人情報を加工する（加工した結果の情報を**匿名加工情報**という）